予算決算

事業成果をチェック❸

健康で笑顔あふれる町づくり

慎重に審査し、令和７年度の決算を認定しました。



地域敬老事業補助



問　70 歳以上人口に対する参加割合や、会場に来られない方への対応は。

答　参加率は 24.6% である。会場に来られない方へは、自宅等に記念品を届ける経費も補助対象として扱っている。

補聴器購入補助



問　ニーズは高いが、県からの補助等の動きは。

答　県内でも補助制度が広がっているため、機会を捉えて県や国へ補助制度の創設を要望することは可能である。

保育士確保



問　当初予算の約 1400 万円に対し、不用額が約 430 万円生じた理由は。

答　当初はフルタイム保育士２人分の委託料を計上。実際、受け入れた３人のうち１人は９月に退職、１人は 11 月からの採用。採用予定期間が満度に達しなかったため。

独居高齢者見守り



問　見守り推進員の人員は足りているのか。

答　令和８年３月末時点の見守り対象者 377 名に対し、見守り推進員は 41 名。１人で多くの方を担当する地域もある。ボランティア活動に頼っている現状であり、成り手不足を含め今後の課題である。

予防接種



問　小学６年生に対する子宮頸がんワクチンの接種に関し、保護者への周知や安全性の確保は。

答　保護者の目にも触れるよう周知を行っており、現在は高い効果が見込まれるワクチンが推奨されている。

出産世帯応援



問　出生数は増えているのか。

答　令和５年度と令和６年度が各 161 人、令和７年度が 169 人であり、微増傾向にある。